

熊本市都市政策研究所 第6回講演会

日時：平成25年10月11日（金）15時～17時
場所：市役所本庁舎14階大ホール

次 第

- 1 開会
- 2 主催者挨拶
○熊本市都市政策研究所 所長 蓑茂 壽太郎
- 3 講演
『市民協働のまちづくり』 ～ワークショップを知ろう～
○熊本県立大学教授 明石 照久 氏
- 4 質疑応答
- 5 研究報告
『江戸の都市空間「勢だまり」の果たした役割の考察』
—近世熊本城下町におけるその特性と変遷について—
熊本市都市政策研究所 研究員 久保 由美子
- 6 閉会

※ 講演会終了後、同じ14階のダイニングカフェ彩で意見交換会を実施します（会費2,000円）。当日参加も可能です。

講演者のご紹介

熊本県立大学 明石 照久（あかし てるひさ）教授



1974年神戸市役所入庁。2002年神戸大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士（法学）。

2006年神戸市を退職し、熊本県立大学に着任。2009年熊本県立大学教授。

専門は行政学、地方自治、行政評価、まちづくり。熊本市行財政改革推進委員会委員長、熊本市消費者行政推進委員会委員長等を歴任。

県内各地で住民ワークショップのファシリテーターを務めるほか、自治体行政計画の策定などにも携わっている。

熊本市都市政策研究所について

わが国では、少子高齢化社会の進展とともに本格的な人口減少社会を迎え、これまでの社会経済のあり方の抜本的な見直しが進められています。また、地方分権の進展によって、地方には、地域の個性や特性を生かし、自らの判断と責任においてまちづくりを進めていくことが強く求められています。

このような中、今後、さらなる政策形成力の向上が不可欠であるとの認識のもと、中長期的なまちづくり構想に資する調査研究活動を行うとともに、職員の政策形成能力の向上を図ることを目的として、2012年（平成24年）10月1日に「熊本市都市政策研究所」を設置しました。

蓑茂 壽太郎（みのもと したろう）
熊本市都市政策研究所 所長



1950年熊本県生まれ。1995年東京農業大学教授に就任し、2006年4月から2012年3月まで公立大学法人熊本県立大学理事長。2012年10月1日より現職。兼職として、一般財団法人公園財団理事長、熊本県立大学客員教授、東京農業大学客員教授なども務める。専門分野は、造園学、農学、都市農村計画など。